



2012～2013

KAWANOE WEEKLY

H. 25. 4. 2
No. 38



高橋省三氏繪



奉仕を通して平和を

2012-2013年度国際ロータリー会長

田中作次

- 会 長 鈴木 昇
- 幹 事 大西 聖和
- 会報委員長 高原 達也
- 例 会 日 毎週火曜日
12:10～13:10
- 例 会 場 四国中央商工会議所
- 電 話 58-3530
- F A X 58-6294
- 事 務 局 四国中央商工会議所
- 電 話 58-3530

* 第 2670 地区内で引き受けている 米山記念奨学生 金勝男様（お世話クラブ：松山 RC）より、卓話の原稿が届きましたのでご紹介させていただきます。伊予 RC、松山西 RC にて卓話をされた際の原稿とのことです。

当クラブは 2 月 26 日（火）に、孫玉梅様（お世話クラブ：今治 RC）に卓話にお越しいただき、素晴らしいスピーチに感動いたしました。米山奨学生の今後益々のご活躍をお祈り申し上げます。

絆と優しさ

ロータリー米山記念奨学生 金 勝 男

私ははじめて「絆」という言葉を知ったときは、すごく暖かい感じがしました。時間の流れに従って、「絆」への感じは暖かさだけではなく、微妙な縁なのだと思うようになりました。

私は去年 4 月に、ダブルディグリー制度で中国の江南大学から日本へ留学してきました。

みどりと自然を大切に

中国の大学には、日本語を専攻して勉強していましたので、日本の方との交流機会は他の学生より少し多かったです。その時、学校で日本語コーナーという活動があって、それは毎週水曜日の夜、日本語または日本文化に興味を持っている学生たちがある教室に集まって、いろいろな話をするという活動です。私は初めてその活動に参加したのは、ルームメイトにつれられて行ったのです。けど、一度参加してみたら、本当に楽しいなと思って、その後、参加し続けました。日本語レベルをアップするために、交流はなるべく日本語で行おうとみんなが約束しました。毎回、日本の留学生も熱心に参加してくれて、充実した楽しい時間を過ごしました。人数はそんなに多くないですけど、みんなが一緒にいたとき、お互いの生活や趣味、習慣や文化などを話し合っ、て、すごく面白かったです。時には、言語で通じられないときもあって、日本の留学生は言いたいことを四肢を使って表現したり、漢字で書いたりして、何とかうまくやっていました。それは私の初めての日本の方との交流経験でした。以前、私は、日本人がまじめ、きびしい、あんまり笑わないと思いました。本当の日本人と触れてみたら、そうでもない、私が誤解していたと分かりました。あの時お知り合いになった日本の学生さんたちは今でもよく連絡してくれて、松山に来て遊んだこともあります。今考えると、それはまさか日本の方がよく言われた「絆」の一つではありませんか。もしあの時、私はルームメイトにつれられて参加しなかったら、たぶん日本語コーナーの皆さんに出会う機会は、この一生にもないと思います。そう考えると、それも縁ですよ。このような絆や縁を大切に、ずっと維持していこうと思います。

中国で日本の方と出会った経験の中に、もう一つすごく印象に残ったのは、大学二年生のとき、横浜国立大学の学生さんたちがうちの大学に来て見学したことです。あの時は、両校の学生を限りのある時間の中に、なるべくお互いの学生生活を理解させるために、学校の図書館で発表会を開きました。結構多くの人、特に日本語学科の学生たちが参加しました。発表会が終わった後、みんなが図書館の正門前で記念写真を取りました。そのあと、私と友達の李は寮に帰ろうと思ったところ、「すみません」と声をかけられました。それは横浜の学生さんたちはちょっと自由にキャンパスを見学したいと思いますが、学校が広くて、これからどちらへ行けばいいのかが分かりませんでした。私と李は、もしよかったらご案内しますって言って、横浜の学生さんたちと一緒にキャンパスを歩きました。まだ限りのある日本語で学校の建物や歴史などを紹介するのは、正直、ちょっと大変でしたが、なんとなくすごく嬉しかったです。友達の李は、ある学生さんの首の周りのスカーフに注意しました。中国では、冬の時にだけ、保温のためにマフラーやスカーフを掛けています。あの時はもう夏でしたので、李はたぶんちょっと好奇を感じ、つい「熱くないですか」と聞き出しました。その学生さんは笑いながら、「それはね、日本では若者にとってスカーフは保温するためより、飾りなどの作用のほうがもっと普通ですよ」と説明してくれました。ええ、面白いなあと私が思いました。国と国の間の違いはこんなに小さなところにも感じられることに少し感動しました。たぶん私はあの時から、日本へ行って日本人の生活習慣や文化を身に持って感じてみようと思いはじめました。夕べのとき、横浜の学生さんたちと一緒に食事もしました。夜のときも、笑いながらあいさつして、お互いに別

れました。たぶん、あの学生さんたちとは二度と会えないかもしれませんが、あの日だけでも、すごく嬉しく過ごしました。なんとか一日の友だちに出会ったみたいな暖かい感じがしました。これも「絆」の一つかなと思います。たとえ二度と会えないとしても、確かにお互いの生命の道に出会って、心こもって交流したことがあります。これは私にとって、貴重な記憶です。

日本に来てから、日本の方との交流機会が増えてきました。日本の方の生活習慣や文化に驚いたことがあります。その中で、一番感心したのは、日本の方の優しさです。実は、日本に来た前も、日本人は礼儀正しい、細かいとこまで気を配る性格、優しいなどとよく聞きましたが、どのぐらい細かいか、やさしいか実は、あんまり想像できませんでした。初めてコンビニでアルバイトする時も驚きました。お客さんとの接待にそんなに思いやりをこめているとは思いませんでした。例えば、お客さんが取りやすくするために商品を前に置くことや、お客さんに気持ちよく買い物してもらえるために時間通りにゴミ箱と店内の掃除をすることや、お客さんが確かめやすくするようにコインを並べて渡すことなど。これは日本の方にとって常識なものかもしれませんが、私はこのサービスの違いを深く感じました。ちょっと恥ずかしいですけど、自分の国のサービス態度を改善すべきことも深く認識しました。それを改善できるなら、お客さんも喜び、企業ももっと発展できるだろうと思います。この面に至っては、日本の方の思いやりや心遣いに非常に感心しています。

日本に来てから、たくさんのやさしい人と出会いました。私は大学院進学のため、この半年はよく東京へ出かけます。初めて東京へ行ったときは、JR駅で乗車券を買う方法さえ分かりませんでした。頭のとっぺんにあるクモの巣のような地図を見ても、どこがどこかもぜんぜん分かりませんでした。どうしようもないとき、親切なおじいさんが助けてくれて、目的地までの行き方を一つ一つ詳しく教えてくれました。東京の名所もいくつか紹介推薦してくれました。そのときの私は、日差しのような暖かさが感じました。一度会っただけですが、いまでも思い出したら、暖かさと感謝の気持ちが湧き上がってきます。

それに、優しさを与える対象は人だけではなく、命のあるすべてのものに与えるべきだと思います。一緒に英語の授業を受けたある30代のお母さんは、川に溺れたある野良猫を救うために、右手にすごい怪我もしました。ただ野良猫一匹で、無視する人も多いでしょう。でも、その野良猫一匹こそ、命への敬意と人間としての優しさが見えると思います。東京の新宿地下駅に、いつも数多くのハトがいます。駅では、非常に多くの人を通りますが、ハトたちはぜんぜん怖くないようで、まるで自分のなわばりにいるように、毎日のんびりと駅内で散歩しています。それは、ハトたちは自分を傷つける人がいないと信じているからでしょう。これは一日で培える信頼感ではないと思います。すごく調和が取れた場面です。人間と動物の間にも「絆」が存在していると信じています。どのような絆をつくっても、優しさが欠かせないと思います。相手に優しく扱うことができれば、相手もだんだん自分へ気を配って、そしてお互いの間の「絆」が出てくるでしょう。そのような「絆」は、人生の大きな富の一つだと思います。

(次週へ続く。)

第2505回 例会記録 H. 25. 3. 26

出席報告

1. 出席会員 (61名中) 48名
2. 出席免除 2名
3. 当日出席率 81. 36 %
4. 前々回補足修正率 96. 61 %
(メーカーシップ会員)
石村浩会員
(2/28 観音寺RC)
篠原孝会員
(3/5 新居浜南RC)

会務報告

1. 例会変更のご案内
伊予三島RC
3月29日(金)夜間例会
*伊予三島商工会館4Fにて、メーカーシップ受付しております。
2. 国際ロータリー日本事務局 経理室
2013年4月ロータリーレートのお知らせ (1ドル=94円)
3. NPO法人 国際地雷処理・地域復興支援の会
高山良二 帰国報告会のご案内
4. 米山梅吉記念館 館報 2013年春号
5. インターアクトクラブ委員会
インターアクトクラブ年次大会 報告書
6. 2013年3・4月 近隣クラブ例会のお知らせ (出席委員会)

会長の時間

- ・2月24日(日)開催
ゴルフコンペ優勝者表彰 辻本 要蔵会員
- ・開催中の家庭集会について

委員長の時間

- ・出席報告 出席委員長 石川 豊和会員

ニコニコニュース

- 鈴木昇…先週の例会を欠席し、誠に申し訳ありません。
- 大西聖…昨日は家庭集会、横内班長・石川豊和副班長ご苦労さまでした。今日、明日と家庭集会がありますが、よろしく願い申し上げます。

石川繁…社会医療法人石川記念会HITO病院、4月1日よりようやく開院いたします。256床の病院となりました。先日内覧会にはロータリー会員の皆様、大勢おいでいただきありがとうございました。今後共よろしく。

三 谷…今日この頃のニコニコ。
銀行の待ち時間で小冊子を見てみると、ドイツ側のライン川下りが見載っていました。リュエデス・ハイムからサンクト・ゴアールスハウゼン区間の人気コースで、私達家族・娘達家族も川下りをしました。ラインシュタイン城・プファルツ城等、古城らと川沿いの小さな町々にも背の高い教会が目立っていました。ローレライの川幅が狭くなっていて、船の事故が多かったことが有名です。窓口で呼ばれても、手を振って？最後まで読みました。今日この頃です。

横 内…昨日のC班家庭集会では、多数ご参加いただきIMについての活発な協議ありがとうございました。トリッキー矢野実行委員長の手腕に期待しています。

卓 話 (社会奉仕委員会 担当)

「東日本大震災～被災地からの報告～」
宇高 光重会員

近隣RCの例会日

- 4月4日(木)観音寺RC
(観音寺商工会議所)
- 4月5日(金)伊予三島RC
(伊予三島商工会館4F)
- 4月9日(火)観音寺東RC
(観音寺グランドホテル)

次週プログラム

- 4月9日(火)
(雑誌委員会 担当)